

## 平成26年度事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター

## 第1 組織運営状況

本年度は当センター設立から4年目となった。会員数は正会員4名、賛助会員は昨年度より2団体増加し13団体となった。また、平成26年度は5月に社員総会、5月、1月、3月に計4回理事会を開催した。

## 【会員及び理事及び監事】

会員数 正会員4名、賛助会員13団体

理事 4名（うち1名は代表理事）

監事 2名

正会員	小坂 智規（代表理事） 大森 敏弘（理事） 佐藤 安男（理事） 小林 憲（理事）
賛助会員（団体）	全国漁業協同組合連合会 一般社団法人大日本水産会 株式会社アール・ピー・アイ 日本かつお・まぐろ漁業協同組合 一般社団法人全国いか釣り漁業協会 全国さんま棒受網漁業協同組合 一般社団法人全国まき網漁業協会 一般社団法人全国底曳網漁業協会 一般社団法人全国近海かつおまぐろ漁業協会 一般社団法人日本トロール底魚協会 一般社団法人日本定置漁業協会 日本遠洋旋網漁業協同組合 一般社団法人海外まき網漁業協会
監事	納富 善裕 若林 満

### 【平成25年度事業監事監査】

平成26年5月20日（火）10：00～（就業者センター事務所内）

第1号議案 平成25年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 平成26年度事業計画及び収支予算案について

### 【第1回理事会】

平成26年5月26日（火）13：30～（大日本水産会大会議室）

第1号議案 平成25年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 平成26年度事業計画及び収支予算案について

第3号議案 役員の改選について

### 【第1回総会】

平成26年5月26日（火）13：45～（大日本水産会大会議室）

第1号議案 平成25年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 平成26年度事業計画及び収支予算案について

第3号議案 役員の改選について

### 【第2回理事会】

平成26年5月26日（火）13：50～（大日本水産会大会議室）

第1号議案 代表理事会長の互選について

### 【第3回理事会】

平成27年1月22日（木）10：30～（大日本水産会大会議室）

第1号議案 平成26年度上半期事業報告及び収支現況報告について

第2号議案 平成26年度事業計画及び収支予算の変更について

第3号議案 補助事業業務一部請負契約について

第4号議案 賛助会員の入会について

第5号議案 平成27年度水産庁補助事業の公募申請について

### 【第4回理事会】

平成27年3月17日（火）13：30～（大日本水産会大会議室）

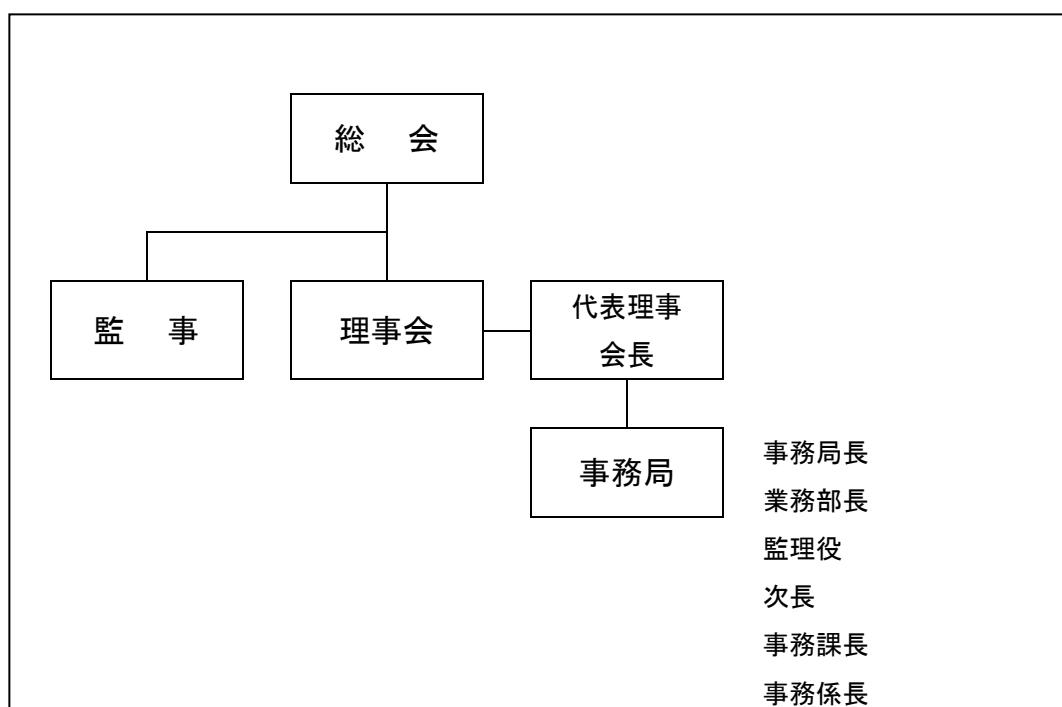
第1号議案 平成27年度事業計画案及び収支予算案について

第2号議案 業務執行に係る契約の締結について

第3号議案 その他

## 【組織の機構及び事務局】

### 機構図



## 第2 事業実施状況報告

平成26年度において、当センターで実施した事業は次のとおり。

### (1) 新規就業者対策事業【新規漁業就業者総合支援事業（基金事業）】

平成24年度予備費予算以降に造成した5つの基金事業を実施した。また平成26年度補正予算において、新たに新規漁業就業者総合支援事業が措置され2月5日に交付決定を受け実施した。

- ・昨年度から新たな取り組みとして青年準備給付金事業が創設され申請のあった28名に対し計19百万円の給付金を支給した。
- ・漁業への就業希望者が円滑に漁業に就業できるよう漁業準備講習会及び漁業就業支援フェアを開催し、マッチングした者等漁業未経験者に対し現場研修を実施した。
- ・漁業への着業5年以内の新規就業者が、漁業就業に必要な技術習得をする際に支援を行った。
- ・各都道府県に設置されている事業実施機関に対しては、事業が円滑に行われるよう現地を訪問し指導を行った。

事業名	概要	基金及び補助金	実施期間
新規就業者対策基金事業 (H24 予備費事業)	・ 漁業準備講習会開催 ・ 就業支援フェアの実施 ・ 漁業未経験者等への	造成 220,123 千円 実績 132,115 千円	平成 25 年 1 月 16 日～ 平成 27 年 3 月 31 日
新規漁業就業者確保基金事業 (H24 補正予算事業)	長期研修 ・ 資格取得 ・ 事業実施機関（県漁	造成 500,116 千円 実績 412,747 千円	平成 25 年 3 月 14 日～ 平成 27 年 3 月 31 日
新規漁業就業者確保基金事業 (H25 当初予算事業)	連等）への指導 ・ 青年準備給付金事業	造成 831,956 千円 実績 338,665 千円	平成 25 年 5 月 16 日～ 平成 27 年 3 月 31 日
新規漁業就業者確保基金事業 (H25 補正予算事業)	（H25 当初及びH26 当初）	造成 255,090 千円 実績 196,649 千円	平成 26 年 2 月 6 日～ 平成 27 年 3 月 31 日
新規漁業就業者確保基金事業 (H26 当初予算事業)		造成 565,831 千円 実績 21,518 千円 基金残 544,313 千円	平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 31 日
新規漁業就業者総合支援事業 (H26 補正予算事業)		予算 272,518 千円 実績 58,000 千円 繰越 214,518 千円	平成 27 年 2 月 5 日～ 平成 28 年 3 月 31 日

漁業準備講習会開催	<p>◆座学講習 133名</p> <p>難波御堂筋ホール 6月6日 18名 ハローワーク品川 6月11日 52名 難波御堂筋ホール 12月12日 20名 ハローワーク品川 12月19日 43名</p> <p>◆体験乗船 14名</p> <p>神戸市漁協（小型底曳） 5月28日 6名 神戸市漁協（小型底曳） 12月10日 8名</p>
漁業就業支援フェア開催	<p><b>来場者 1,650名</b></p> <p>◆福岡 エルガーラホール 5月24日（出展44団体、来場105名）</p> <p>◆大阪 OMMビル 6月7日（出展48団体、来場205名）</p> <p>◆東京 アキバ・スクエア 6月14日（出展55団体、来場336名）</p> <p>◆仙台 イベントホール松栄（復興担い手事業）</p>

	<p>9月27日（出展13団体、来場 55名）</p> <p>◆大坂 OMM ビル</p> <p>12月13日（出展52団体、来場181名）</p> <p>◆東京 東京国際フォーラム</p> <p>12月20日（出展57団体、来場309名）</p> <p>◆福岡 福岡県中小企業振興センター</p> <p>3月14日（出展27団体、来場77名）</p> <p>◆東京 ベルサール半蔵門</p> <p>3月21日（出展52団体、来場382名）</p>
--	--

(2) 漁業復興支援事業【漁業復興担い手確保支援事業】

「漁業復興担い手確保支援事業」では東日本大震災により被災した3県を中心として、実施要領に基づき支援を行った。

昨年度からの継続研修及び未経験者の新規研修に対し支援を行った。また今年度からは福島県での研修についても現地より要望があり水産庁と調整を行い支援した。その他、漁業復興に必要な資格取得等に対して支援を行った。

事業名	概要	補助金	実施期間
漁業復興担い手確保支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業支援フェアの実施</li> <li>・漁業研修</li> <li>・資格取得</li> </ul>	<p>予算 564,877 千円</p> <p>実績 315,661 千円</p>	<p>平成 26 年 4 月 1 日～</p> <p>平成 27 年 3 月 31 日</p>

(3) 漁船安全対策事業【安全な漁業労働環境確保事業】

今年度新たに措置された「安全な漁業労働環境確保事業」については、全国25か所で漁船の安全操業対策に資する「カイゼン講習会」を開催し、958名の「安全推進員」を養成した。

また、独立行政法人水産総合研究センター水産工学研究所に事業の一部を委託し、ライフジャケット着用時と非着用時の漁労作業の分析調査を行った。

事業名	概要	補助金	実施期間
安全な漁業労働環境確保事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に係る全国会議の開催</li> <li>・ライフジャケット選定委員会の開催</li> <li>・ライフジャケットに係る調査</li> <li>・カイゼン講習会の開催(25回)</li> <li>・資格取得講習会の開催(6回)</li> </ul>	<p>予算 15,819 千円</p> <p>実績 15,819 千円</p>	<p>平成 26 年 4 月 1 日～</p> <p>平成 27 年 3 月 31 日</p>